

# きずな

2025 **3** March

## 今号の題字

日南市立吾田中学校 3年

四月一日 優芽さん



### 笑顔でスタート! 吾田中のあいさつ運動

日南市立吾田中学校(土持光司校長・生徒数427名)は、日南市中心部に位置し、創立78年を迎えました。

本校では、「あたたかい心・がんばる学習・たくましい身体」を目指す生徒像のもと、生徒たちは日々学業や部活動に励んでいます。今年度の生徒会スローガン『Challenge the Top』を掲げ、全校で一丸となり活動しています。

写真は、毎月1回実施されるPTAと生徒会によるあいさつ運動の様子です。学校前の歩道に立ち、地域の方々に「今日も元気にしてらっしゃい」という思いを込めて活動しています。また、生徒会は基本的に毎週あいさつ運動を行い、PTAも毎週立ち番を行うなど、子どもたちの安心・安全に努めています。

## CONTENTS

- ②・③ 宮崎県PTA研究大会延岡市・西臼杵郡大会  
令和6年度 表彰者・団体
- ④ 日本PTA九州ブロック研究大会長崎大会  
コラム「親がめ子がめ」
- ⑤ 宮崎県小・中学校PTA新聞コンクール  
編集後記
- ⑥ トピックス「日向市立富島中学校」  
日本PTA九州ブロック研究大会宮崎大会の  
ロゴマーク決定



宮崎県PTA連合会  
ホームページ



編集・発行：宮崎県PTA連合会

発行責任者：森山 慎作

宮崎市旭1丁目3-10 婦人会館2階 Tel:0985(22)3081 FAX:0985(20)9443

<http://www.miyazakikenpta.com> E-mail: mken-pta@io.ocn.ne.jp

# 第66回 宮崎県PTA研究大会 延岡市・西臼杵郡大会

令和6年12月7日(土)  
野口遵記念館

大会スローガン

自他の幸せのために 学び 楽しみ つながるPTA

第66回 宮崎県PTA研究大会 延岡市・西臼杵郡大会

自他の幸せのために 学び 楽しみ つながるPTA

主催 / 宮崎県PTA連合会

主管 / 延岡市PTA連絡協議会・西臼杵郡PTA連絡協議会



PTA「思い出そう、十のこと」

- 一、PTAは、自発的に作られた「任意団体」です。強制がありません。
- 二、PTAは、加入していない家庭の子供を差別しません。企業ではないからです。
- 三、PTAに人が集まらないなら、集まつた人たちでできることをするだけです。
- 四、PTAがするのは、「労働」ではありません。対価のないボランティア「活動」です。
- 五、PTAのボランティア活動は、もともと不平等なものです。でも「幸福な不平等」です。
- 六、PTA活動は、ダメ出しをされません。評価はたったひとつ「ありがとうございます」です。
- 七、PTA活動は、生活の延長にあります。家庭を犠牲にする必要はありません。
- 八、PTA活動は、あまり頑張り過ぎてはいけません。前例となって「労働」を増やします。
- 九、PTAは、学校を応援しますが指導はされません。学校と保護者は対等です。
- 十、PTAの義務は一つだけです。「何のためのPTA?」と考え続けることです。

岡田憲治氏 PTA「思い出そう、十のこと」



野外野神楽保存会による岩戸神楽



表彰式

令和6年12月7日(土)、野口遵記念館にて宮崎県PTA研究大会が開催されました。アトラクションは、高千穂町長自らが太鼓を叩く野方野神楽保存会の岩戸神楽でした。  
10団体と個人10名の表彰の後、串間市立大東小学校PTAが大東特産の甘藷を使うなど地域の特色を生かした活動報告を、市立延岡中学校PTAは現代ならではのPTAについて模索する活動報告がありました。

講演は、岡田憲治氏による「PTAは『すべては子どものため』にあるのでしょうか?」と題し、「PTAの『仕事』と呼ぶのをやめましょう『活動』です」「楽しかった記憶があるから参加する」「PTA連はメディアであり、地域や学校を繋ぐ役割である」など、講話の端々に考えさせられるフレーズが数多く散りばめられていました。同時に配付された「思い出そう十のこと」と題されたプリントを多くの参加者が領きながら読んでいた姿も印象的でした。

市立延岡中学校PTAは現代ならではのPTAについて模索する活動報告がありました。

講演は、岡田憲治氏による「PTAは『すべては子どものため』にあるのでしょうか?」と題し、「PTAの『仕事』と呼ぶのをやめましょう『活動』です」「楽しかった記憶があるから参加する」「PTA連はメディアであり、地域や学校を繋ぐ役割である」など、講話の端々に考えさせられるフレーズが数多く散りばめられていました。同時に配付された「思い出そう十のこと」と題されたプリントを多くの参加者が領きながら読んでいた姿も印象的でした。

⑤地域の講師を招き、親子で参加できる会員相互の親睦を深める活動

今回発表した内容は、これまで継続して実践してきたものです。しかし、再

令和6年12月7日(土)、野口遵記念館にて宮崎県PTA研究大会が開催されました。アトラクションは、高千穂町長自らが太鼓を叩く野方野神楽保存会の岩戸神楽でした。

10団体と個人10名の表彰の後、串間市立大東小学校PTAが大東特産の甘藷を使うなど地域の特色を生かした活動報告を、市立延岡中学校PTAは現代ならではのPTAについて模索する活動報告がありました。

講演は、岡田憲治氏による「PTAは『すべては子どものため』にあるのでしょうか?」と題し、「PTAの『仕事』と呼ぶのをやめましょう『活動』です」「楽しかった記憶があるから参加する」「PTA連はメディアであり、地域や学校を繋ぐ役割である」など、講話の端々に考えさせられるフレーズが数多く散りばめられていました。同時に配付された「思い出そう十のこと」と題されたプリントを多くの参加者が領きながら読んでいた姿も印象的でした。

研究発表

ふるさとを愛し、誇りに思う心を育てるPTA活動

串間市立大東小学校 PTA会長  
井手 幸彦

本校のPTA活動の目的は、「児童の健やかで幸福な成長を図ること」です。本大会においては、児童がふるさとを愛し、誇りに思うことのできるPTA活動を充実させていきたいと思います。



①本地域の特産である「甘藷」を生かした教育活動を支援する活動

②児童の思い出となるような創立15周年記念事業への支援活動

③夏休みのプール開放や体育的行事の運営補助、登校時の交通見守り活動など児童の健全育成のための支援活動

④学校内の除草作業や校内清掃など児童の学習環境を整える活動

⑤地域の講師を招き、親子で参加できる会員相互の親睦を深める活動

昨年12月に開催された研究大会で研究発表校として登壇いたしました。  
研究発表校として登壇いたしました。  
研究発表校として登壇いたしました。  
研究発表校として登壇いたしました。  
研究発表校として登壇いたしました。

研究発表

第66回 宮崎県PTA研究大会  
延岡市・西臼杵郡大会 参加報告  
延岡市立延岡中学校 PTA会長  
松本 清孝



度、目的を意識し、関係団体と連携・協力しながら取り組むことで、「甘藷農家になつて、病気に強い品種を作る。」と夢を語る児童の姿も見られ、本校児童の大きな成長につながつたと考えます。今後も、会員とともに目的を意識し、児童がふるさとを愛し、誇りに思うことのできるPTA活動を充実させていきたいと思います。

昨年12月に開催された研究大会で研究発表校として登壇いたしました。  
研究発表校として登壇いたしました。  
研究発表校として登壇いたしました。  
研究発表校として登壇いたしました。  
研究発表校として登壇いたしました。

「PTA一人一役活動」というワードを前面に出さずに気軽に参加できるPTAに対するためにはとという思いから、会員の方々を4つの層に分類しました。中で

も中間層(PTA活動に抵抗はないが参加には消極的)、消極的層(PTA活動にはネガティブだが最低限の関わりをもつ方)へのアプローチ対応次第で前向き可能層につながると考えました。

アプローチとして

- ①強制感払拭、参加を歓迎する環境創出
- ②円滑なコミュニケーションツール活用
- ③会議時間の改革および厳守
- ④ボランティア活動ということを忘れず感謝

以上4点をこの1年間で行つていこうと現在進行形で活動を進めています。

PTAを取り巻く環境は平穏ではありません。むしろ逆風すら感じる風潮に対しPTA活動を継続的に進めていくためには「活動が何のために誰のためにあるのか」という目的に立ち返ることが大切です。子どもの学校のPTAがどんな組織であるかを知つていただく丁寧な対応が組織を維持できる唯一の方法であると考えます。

PTAは大人のための学びの団体と私は考えています。そこには、会員の数だけ多様な考え方や感じ方、家族構成や生活があります。互いを認め合い「できる人が、できる時に、できることをする」という無理のない運営が持続可能な活動につながると信じています。

最後に今大会の発表に際してご協力ありがとうございました。

### 実行委員長 富井 健司

にしながらも、今の時代に

合った頑張りすぎず、できる活動をやつしていくという大会は、県内各地より400名以上のご参加をいただきました。また、学校と地域を結ぶことができました。心より感謝申し上げます。

また、大会の運営にスタッフとして協力していました。心より感謝申し上げました延岡市・西白杵郡の会員の皆様、誠にありがとうございました。

大会に向けては、2月に前年度開催地のえびの市PTA連絡協議会より引き継ぎを受け、実行委員会を立ち上げ、6月より会議やりハーサルを重ねてきました。大会スローガンを『自他の幸せのために 学び 楽しみ つながるPTA』

大会の準備は大変でしたが、会員の仲間と共通の目標に向かって作業することで学校を越えた横のつながりが強くなりました。つながるPTAの「和」です。来年度開催地の都城市・三股町にしつかりバトンを渡し、令和8年度にひかえています九州ブロック研究大会宮崎大会に向けてさらに盛り上がつていこうと思います。

話は大変参考になりました。また、学校と地域を結ぶ役割、子どもが卒業しても地域活動を担っていく人材となるなどPTAの存在の大しさを改めて感じることができました。

今年度開催地のえびの市PTA連絡協議会より引き継ぎを受け、実行委員会を立ち上げ、6月より会議やりハーサルを重ねてきました。大会スローガンを『自他の幸せのために 学び 楽しみ つながるPTA』

研究テーマを「子どもを真ん中に みらいへつなぐPTAの「和」」としました。PTAそのものを題材とした内容がいいと思い『政治学者、PTA会長になる』の著者で専修大学教授の岡田憲治氏を招きご講演をしていただきました。先人たちが活動してきたことを大切にしました。

富井実行委員長

### おめでとうございます!

PTA活動の発展・充実に寄与

### ●令和6年度● 表彰者・団体

#### 日本PTA全国協議会表彰

**団体** 国富町立木脇小学校PTA  
日向市立財光寺中学校PTA

**個人** 中竹 佳奈  
(木城町立みどりの杜木城学園PTA)

赤池 智和  
(都城市立庄内中学校PTA)

松本 祐子  
(宮崎市立田野中学校PTA)

#### 宮崎県社会教育優良団体表彰

**団体** 小林市立須木小中学校PTA

### 九州ブロックPTA協議会表彰

**団体** 日南市立東郷小中学校PTA 串間市立秋山小学校PTA 三股町立三股小学校PTA  
西都市立都於郡小学校PTA 木城町立みどりの杜木城学園PTA 高原町立後川内小・中学校PTA

**個人** 中竹 佳奈 (木城町立みどりの杜木城学園PTA) 荒木 大介 (延岡市立岡富中学校PTA)  
田代 好秀 (えびの市立飯野小学校PTA) 馬渡 隆博 (三股町立三股中学校PTA)

**感謝状** 赤池 智和 (都城市立庄内中学校PTA) 松本 祐子 (宮崎市立田野中学校PTA)  
黒木 政信 (宮崎県PTA連合会事務局長)

### 宮崎県PTA連合会表彰

**団体** 宮崎市立生日台東小学校PTA 宮崎市立佐土原中学校PTA 日南市立酒谷小学校PTA  
串間市立都井小学校PTA 都城市立高崎小学校PTA 都農町立都農中学校PTA 延岡市立南方小学校PTA 五ヶ瀬町立三ヶ所小学校PTA

**個人** 児玉 剛 (宮崎大学教育学部附属中学校PTA) 太田 智章 (日南市立北郷小中学校PTA) 山崎 克二 (串間市立秋山小学校PTA)  
野崎 優子 (都城市立高城小学校PTA) 斎藤 穎 (小林市立野尻中学校PTA)

**感謝状** 田代 好秀 (えびの市立飯野小学校PTA) 濱砂 孝義 (西都市立銀上小学校・銀鏡中学校PTA)  
松本 清孝 (延岡市立延岡中学校PTA) 椎葉辰徳 (椎葉村立尾向小学校PTA)  
菊池 健太 (日之影町立宮水小学校PTA)

# 第69回日本PTA九州ブロック研究大会



# 長崎大会



分科会

令和6年 10月26日(土)

出島メッセ長崎

全体会

令和6年 10月27日(日)

出島メッセ長崎

大会スローガン

学びを実践へ！

～集まろうで 語り合おうで やってみようで～

九州各県から約4,400人が集い、長崎大会が開催されました。1日目は、6分科会に分かれ、代表校が研究領域について発表し、討議が行われました。宮崎県からは、延岡市立延岡中学校PTA会長松本清孝氏が第1分科会での提言発表をされました。

2日目の全体会は、鶴鳴学園長崎女子高等学校龍踊部の勇壮な歓迎アトラクションが第1分科会での提言発表をされました。宮崎県からは、延岡市立延岡中学校PTA会長松本清孝氏が第1分科会での提言発表をされました。

学校龍踊部の勇壮な歓迎アトラクションが第1分科会での提言発表をされました。記念行されました。記念講演では、放送作家として活躍されている野々村由紀子氏が「強く生きるためのヒント」と題し、笑いを交えながら人生や子育てにおいて大切について講演されました。

「組織・運営」  
PTA活動

時代の変化に応じた持続可能な

第1分科会



アトラクション「龍踊」

延岡市立延岡中学校PTAでは会員と

大会が開催されました。1日目は、6分科会に分かれ、代表校が研究領域について発表し、討議が行われました。宮崎県からは、延岡市立延岡中学校PTA会長松本清孝氏が第1分科会での提言発表をされました。宮崎県からは、延岡市立延岡中学校PTA会長松本清孝氏が第1分科会での提言発表をされました。

2日目の全体会は、鶴鳴学園長崎女子高等学校龍踊部の勇壮な歓迎アトラクションが第1分科会での提言発表をされました。宮崎県からは、延岡市立延岡中学校PTA会長松本清孝氏が第1分科会での提言発表をされました。

学校龍踊部の勇壮な歓迎アトラクションが第1分科会での提言発表をされました。記念講演では、放送作家として活躍されている野々村由紀子氏が「強く生きるためのヒント」と題し、笑いを交えながら人生や子育てにおいて大切について講演されました。

延岡市立延岡中学校PTAでは会員と

運営側の相互信頼を築き、成熟度の高い組織を目指して活動されていました。PTA活動に消極的な会員層などに負担感や強制感を感じさせず、いかに納得して参加してもらうかの現状と課題、アプローチ法について研究されており、大変参考になる発表でした。

特別分科会

「今日的課題」  
PTA改革を真正面から考える

宮崎県PTA連合会 副会長 葛西一

PTAは必要か…。「PTA改革を真正面から考える」と題された特別分科会に参加しました。

PTAは必要か…。「PTA改革を真正面から考える」と題された特別分科会に参加不足、学校における働き方改革など、PTAを取り巻く環境が大きく変化しています。

明示されたアンケートでは、保護者で約68%、教職員で約54%がPTAは必要であるとの回答でした。このアンケートを見る限りでは、教職員のほうが必要性を感じていないようです。

PTA活動の現状は情報共有できる、お互いの交流や関係づくりができる、活動や行事など協力し合えるなどの良い面がある一方、会議や集まりが多い、仕事や家庭との両立がしにくい、活動が大きな負担になるなど、の良くない面も浮き彫りになっています。

そのような中、保護者と教職員一人ひとりが話し合い、PTAの理念を再認識するとともに、目的や役割を整理し、その都度答えを明確にしていかないといけないと思いま

三、親がめ子がめ



高原町立後川内小・中学校  
PTA会長 川平典生

豊かな自然に囲まれた後川内小・中学校は、日本発祥の地と言われる高原町内にある学校です。町内には4小学校と2中学校があります。私自身も卒業した後川内小・中学校は令和8年3月をもって閉校することが決まりました。

学校と2中学校があります。私自身も卒業した後川内小・中学校は令和8年3月をもって閉校することが決まりました。

「今後の学校で卒業したかった」などの声も聞かれますが、現実を受け止め前に進むしかありません。

令和4年度より、閉校にむけた協議を行ってきました。各々学校に対する思いがあります。地域の方々からいろいろなご意見を頂戴してきました。今年は閉校式にむけた最終準備の年となります。子ども達、地域の方々、後川内の未来のために、心に残る閉校式典が開催できるよう準備を行っていきたいです。後川内小・中学校で学んだことを誇りをもち、未来に向かって進んでいきたいと考えています。

第45回

# 宮崎県小・中学校PTA新聞コンクール開催

●合同審査会 令和7年1月27日(月)

●表彰式 令和7年2月17日(月)



TA新聞コンクール表彰式が行われました。小・中学校より各4校が受賞し、最優秀賞を受賞した2校が代表して受賞の喜びを述べました。日南市立飫肥小学校は、コンクールでの受賞を目指してみんなで頑張ってきた熱い思いを、日向市立財光寺中学校は、保護者同士で得意とする分野を分担して楽しく新聞制作に取り組んでいることを語りました。また、毎日新聞の加藤学支局長からは、「昨今、新聞の在り方自体も変化している中、作成しているみなさんの熱意を落とし込むような新聞づくりに励んでほしい」とお言葉をいただきました。PTA新聞コンクールはみなさんの広報活動を発表する場です。来年度も多くの応募をお待ちしています。

いを、日向市立財光寺中学校は、保護者同士で得意とする分野を分担して楽しく新聞制作に取り組んでいることを語りました。また、毎日新聞の加藤学支局長からは、「昨今、新聞の在り方自体も変化して

いる」と娘が「うのを聞いた時、感心しました。『理論と感情を分けて考える』、意外と難しいものです。人格否定された訳じゃないし、と私も冷静になるよつ心がけています。

講評

毎日新聞宮崎支局長 加藤学

## 最優秀賞



## 【令和6年度 第45回宮崎県小・中学校PTA新聞コンクール入賞校】

小学校		中学校	
最優秀賞	いしがき	最優秀賞	大樹
優秀賞	しろやま	優秀賞	Green・9
優良賞	かけはし	優良賞	あけぼの
努力賞	やえしお	努力賞	雀八重

応募総数 27校 (小学校14校、中学校13校)

## ◆入賞◆おめでとうございます!

### ◆楽しい子育て全国キャンペーン 三行詩◆

**【一般の部】佳作 新村 明日香さん**  
(都城市立夏尾中学校)

◆受賞作品◆ 「今日学校でね…」子供の話を聞きながら会話が弾む帰り道 自宅に向かう道のりが親子で綴る連絡帳

### ◆第46回全国小・中学校PTA広報紙コンクール◆

(応募総数 小学校321校 中学校213校 WEB版12校)



日本教育新聞社 社長賞  
宮崎市立西池小学校PTA  
『西池』



佳作  
木城町立みどりの杜  
木城学園PTA  
『Green・9』

最近の気候変動によつて、日本の美しい四季が少しずつ変わつてきていると感じることがあります。お天氣のニュースを見ていて、これから先四季の魅力を守るために今までのことを始めようと食べていたお菓子の袋の表示を確認して分別しました。「千里の道も一歩より」小さな小さな一步を踏み出した気分です。

高校生と中学生の子ども達は、家にいる間はほとんどどの時間をリビングで過ごしています。子ども部屋は物置化に。以前、母親が生涯わが子と一緒に過ごせる時間は約7年6ヶ月というのを聞いて衝撃だったので、同じ空間で一緒に過ごす時間は大切にしなくてはと思っているところです。

田ノ上

年末に日向でグランピングをしてきました。暖房もあり手ぶらで出かけ、星を見ながら気持ちよく食事をしていただこう…ベキユーロン口でご飯を炊いた際、息子が飯ごうの取っ手を素手で触り火傷をするハプニングがあり、まだまだ経験させることが必要だと痛感しました。

平田

長女の昔のバイト先の店長はとても怖かったです。ですが、「店長は確かに言い方キツイけど言つていいことは正しいから腹は立たない」と娘が言つたのを聞いた時、感心しました。「理論と感情を分けて考える」、意外と難しいものです。人格否定された訳じゃないし、と私も冷静になるよつ心がけています。

西村

編集後記

# 夢をもち 生きる力を持つ 心のある 富島中学校へ

**[日向市立富島中学校]（横山 博章校長 生徒数427名）**



校章



レンガ造りの正門



協働的な学び



意見発表会



意見発表会(ディスカッション)



募金活動



通学路ピカピカ大作戦

3小学校と富島中全校生徒・地域の方々が参画して実施する「豊かな心を育てる富島中学校区生徒指導実践会議意見発表会」があります。そこでは、『将来住みたくなる地域づくり』というテーマのもと、地域の方々と共に活発な議論を展開し、自分の将来について考えるキャリア教育の一環としています。

また「力のある」の実現に向け、生きていくために本当に必要な学力を身に付けるため、主体的対話的で深い学びを生徒と教師、家庭や地域が一体となって取り組んでいくための努力をしています。特に令和5・6年度に県から

富島中学校は日向市の中心部に位置し、校区内には日向市の観光名所である「馬ヶ背」や「願いが叶うクルスの海」、海水浴場100選の「伊勢ヶ浜海水浴場」があり、大自然に恵まれた環境にあります。「夢をもち生きる力を身につけ美しい心をもつた生徒の育成」を教育理念とし、「夢のある力」のある心のある富島中学校を教育目標に掲げて日々の教育活動を行っています。

昭和22年創設の日向市内では最も古い伝統を誇る学校であり、昭和35年に本校から日向中学校が分離、昭和59年には本校から大王谷中学校が分離しています。昭和30年には生徒数1,968名を誇る大規模校でした。また本校は、富高海軍航空隊基地の跡地に建設されており、本校のレンガ造りの正門は基地の門を当時のまま活用したものになります。

## 【富島中学校の特色】

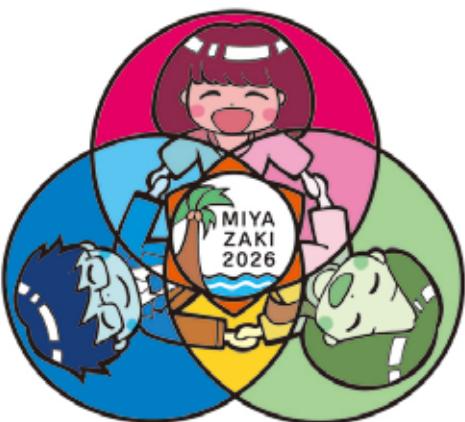
教育理念に掲げる「夢のある力のある心のある富島中学校」を実現するために様々な取組をしています。代表的な取組として「夢のある」の実現に向けては、校区内

登校する「通学路ピカピカ大作戦」を実施することで、地域貢献や奉仕の精神を養っています。また、令和6年1月1日に発生して甚大な被害をもたらした能登半島地震に生徒会が心を痛め、自主的に朝と放課後の時間を使い、校門や校区内の商店で募金活動を行いました。集まつた義援金は日向市をとおし、能登の皆さんへ送ることができました。

**【これからの富島中学校】**  
子ども達が今後必要になる力を身に付けるためには、学校の勉強だけでは足りません。家庭や地域と一緒に学びを進めていく必要があります。そのためにも本校は「開かれた学校」を目指し、保護者や地域の方々が自由に学校を訪れ、子ども達が学んでいる様子や校内を見ることのできるオープンスクール期間を令和6年度は年間5回設けました。来校された方々は家や地域とは違う子どもの顔を見ることができたと満足していただけています。これからも学校・家庭・地域が一体となって富島中学校区の子ども達の健全育成に向けた取組を継続していきたいと考えています。

**【教頭 植野晃】**

## 第71回日本PTA九州ブロック研究大会 宮崎大会のロゴマーク決定!!



令和8年度に開催予定の標記研究大会を盛り上げるために、小・中学生を対象にロゴマークを募集したところ、小学校から102点、中学校から47点、合計149点の応募がありました。どの作品も素晴らしい、力作ばかりでしたが、厳正なる審査の結果、宮崎市立住吉中学校3年生の遠竹美優さんの作品が選ばされました。光の3原則をイメージし、赤、青、緑の光が重なることで白い光ができるように、児童生徒、保護者、先生が互いに支え合うことで太陽のように明るい未来ができるという美優さんの思いが表現されています。